

NPBガールズトーナメント2026全日本女子学童軟式野球山形県予選会

実施要項

1. 主催 山形県野球連盟
2. 主管 米沢地区野球連盟
3. 会期 2026年7月5日(日)
4. 会場 米沢市営野球場(皆川球場) 電話:0238-24-8989
5. 参加資格 学童部に規定する小学生で編成されたクラブチームでなければならない。
6. 参加チーム 新庄1、米沢1、鶴岡1、酒田1の計4チーム
7. 適用規則 2026年度版公認野球規則、2026年版(公財)全日本軟式野球連盟大会規則並びに大会特別規則を適用する。
8. 試合方法
 - (1) トーナメント方式とする。1試合6回戦とするが、試合時間が90分を超えた場合は新しいイニングに入らない。均等回完了をもって試合を決する。
 - (2) 得点差によるコールドゲームは適用しない。
 - (3) 6回戦または試合時間が90分を超えて同点の場合は、タイブレーク方式(無死1、2塁で継続打順)を行う。タイブレーク方式は最大2イニングまでとし、決着がつかない場合は抽選とする。
 - (4) 選手の健康管理に配慮し、
 - ① 同一日における投手の投球制限に関する事項を以下のとおり定める。
選手の肘・肩の障害予防として、一人の投手が1日に投球できる数を70球以内(4年生以下60球以内)までとする。なお、試合中に規定投球に達した場合はその打者の打撃中に攻守交代となるか、打撃を完了するまで投球できる。(競技者必携P48~49参照)
 - ② リエントリー制を採用する。
 - (5) 本大会においては、指名打者ルールを使用することができる。
ただし、二刀流選手を採用しない。(競技者必携P55~57参照)
9. 使用球 (公財)全日本軟式野球連盟公認球ナガセケンコーJ号を使用する。
10. 参加申込 **参加申込みは試用期間(過渡期)のため、下記2つの申込みとする。**
 - ① 出場資格を得たチームは、所定の参加申込書を作成し、所属地区連盟を経由し、**6月25日(木)までに必着**するようメール送信にてエクセルデータを送ること。なお、会長印は不要とする。チームから直接送られた場合は正式申込みと認めません。
米沢地区野球連盟 事務局長 平山 友也 yonezawahirayama@ymail.ne.jp
 - ② **代表チームは、山形県予選会代表チーム報告様式を作成し各地区野球連盟事務局に提出する。**各地区野球連盟は内容を確認し県連事務局に提出する。各チームには、「野球ねっと」に登録している担当者あてに大会申込みの招待メールが送られる。チーム担当者は「野球ねっと」を通じて大会参加の申込み申請を行うこと。申請後は、各地区野球連盟の承認および県連の承認を得て大会参加が完了となる。**申込締切日は6月25日(木)とする。**
11. 参加料 **5,000円とする。試合球3個(9の大会使用球参照)を持参すること。**
12. 組合せ この大会の組合せは、別紙のとおりである。

13. 監督会議 行わない。
14. 開始式 行わない。
15. 引率責任者 (チーム責任者) 各チームは必ず引率責任者(18歳以上の成人とし、監督を兼ねてもよい。)をつけなければならない。引率責任者は出発から帰宅までの責任を持つものとし試合中はベンチの中に入ることができる。ベンチ内の服装は、スポーツ行事に相応しいものとする。
16. スポーツ安全傷害保険の加入について
スポーツ傷害保険の加入を義務付けることを特に徹底すること。
未加入チームは出場できないこととする。
17. 表彰 第1位(賞状・優勝カップ)、第2位チームに賞状を授与する。
優勝チームには、8月21日から滋賀県大津市他で開催されるNPBガールズトーナメント2026の山形県代表として出場権を与える。
なお参加申込は、「野球ねっと」システムからの申込みとなる。
18. その他 (1) ベンチに入れる人員は、登録されユニホームを着用した監督30番、コーチ29番・28番および選手25名以内と、チーム責任者(引率責任者)マネージャー、スコアラー、トレーナー(有資格者)各1名とする。
ただし、監督、コーチは18歳以上でなければならない。
(2) 熱中症対策として、保護者2名までベンチに入れることができる。
(3) 出場チームの代表者、監督、コーチのいずれか1名で、当日ベンチに入る者はJSPPO公認コーチ3、公認コーチ1、公認スタートコーチ(ジュニア・ユース【旧:スポーツ少年団】)、公認スポーツコーチングリーダー【旧:コーチングアシスタント】、BFJ公認野球指導者資格基礎I(U-12)、JSBB公認学童コーチのいずれかの資格者であること。(2024年から義務付けされている。)
(4) 選手のユニホームは同一でなくても良いが、必ず背番号(主将10番)を付けること。
(5) 打順表(登録された選手全員を記入したもの)の提出は、第1試合は開始予定時刻の30分前とする。第2試合以降は前の試合の3回終了時に監督と主将が大会本部に提出し、登録原簿と照合ののち、球審立会いのもと攻守を決定する。なお決勝戦は、第2試合終了後の20分後とする。
(6) 参加申込書提出後の、選手の追加、変更及び背番号の変更は大会本部で承認を得ること。
(7) 用具及び装具は、公認野球規則で規定されているもののほか、連盟公認のものを使用しなければならない。
(8) 捕手用のマスク(スロートガード付)は、SGマークのついた連盟公認のものを使用しなければならない。
(9) 捕手は、連盟公認のレガース・プロテクター、SGマークのついた捕手用ヘルメットを装着しなければならない。捕手のヘルメットは、マスクと一体になっている物の使用は禁止とする
(10) 打者、次打者、走者、ベースコーチは、SGマークのついた連盟公認のヘルメットを着用しなければならない。なお、打者、次打者、走者は両側か片側にイヤーフラップのついたものとする。
(11) 金属、ハイコンバット(複合)は、JSBB公認のものに限る。安全面を考慮し、一般用バットのうち、打球部にウレタン、スポンジ等の素材の

弾性体を取り付けたバットの使用はできない。

(1 2) 金属製金具のついたスパイクを使用することはできない。

(1 3) 本大会に参加する際、健康保険証等、これに準ずるものを持参する。

(1 4) ボールパーソン及びグラウンド整備は、各チームでお願いします。

(1 5) 前年度優勝地区（酒田地区）のチームは、優勝カップを持参すること。

1 9. リエントリー制について

「リエントリー（再出場）」についてできるだけ多くの選手に出場する機会を増やすことを目的として、先発メンバーは一旦試合から退いても一度に限り再出場ができるものとする。ただし、再出場する場合は、元の打順に戻らなければならない。この場合、守備位置は変更しても構わない。

- * リエントリー制度を使用する場合、必ず選手交代時に監督が球審に申告する。
- * 指名打者制を使用し、先発投手が打順に入らない場合、先発投手は打者として再出場することができない。
- * 投手の障害リスクを高めるような再登板を推奨しない。
- * 登録選手全選手の出場（怪我人を除く）を推奨する。
- * 複数の交代選手が使われる場合でも、交代した先発選手の打順を変更することのないよう注意する。

【リエントリーに関する違反】

以下の場合には違反となる

- 先発メンバー以外の選手が再出場した時
- 再出場選手が元の打順以外の打順で出場した時
- 再出場した選手が退いた後、3 度目の出場をした時

【リエントリーに関する違反が判明した場合の措置】

リエントリーに関する違反は、相手チームから審判にアピールがあった時に以下の措置を取る。違反者は正しい交代者と交代する。

- 1) 守備側の選手に違反が判明した時
 - ① 次の投球動作に入る前は、攻撃側の監督にプレイの結果を生かすか、（打撃完了前のボールカウントで）打ち直しをするかの選択権が与えられる。
 - ② 次の投球動作に入った後は、すべて有効となる。
- 2) 攻撃側の選手に違反が判明した時
 - ① 打撃完了前に判明した時は、正しい交代者がそのカウントを引き継ぐ（それまでのカウントは有効である）。
 - ② 打撃完了後、次の投球動作に入る前は打撃による全てのプレイは無効で、違反者はアウトになる。ただし、違反判明前のアウトは取り消さない。
 - ③ 打撃完了後、次の動作に入った後は、それまでの全てのプレイは有効である。